

輸送動向について（平成23年4月分）

平成23年5月

1. 輸送概況

東日本大震災により不通となっていた東北線は21日に全線で復旧し、41日ぶりに運転再開となった。しかし、同様に不通となっている常磐線は、福島第一原子力発電所の事故に伴い復旧の目処はたっていない。また、被災した臨海地区の一部貨物駅では取扱が不能となっている。これらの影響により、月全体では高速貨1,282本、専貨84本が運休となった。

荷動きについては、震災による輸送障害及び製造業各社の被災に伴う減産により大きく減送となった。なお、西日本地区等から被災地へ向けた食料・飲料水等の輸送が活発に行われた。

コンテナ貨物は、紙・パルプ、自動車部品などほとんどの品目が前年を下回り、全体では前年比81.7%となった。紙・パルプは東北地区の生産拠点の被災により操業停止が続いており大幅な減送となった。自動車部品は部品調達が困難となったこと等による生産中止や減産の影響により大幅に減送となった。

車扱貨物は、セメント・石灰石が前年を上回ったものの、石油が前年を大幅に下回り、全体では前年比80.6%となった。石油は仙台・千葉の製油所の被災、線路の不通、さらに価格高騰等に伴う需要減により大幅に減送となった。なお、被災地向けの臨時石油列車の運転（3/18～4/19、日本海縦貫線・磐越西線経由）は、東北線の開通以降も引き続き根岸～盛岡夕・郡山間で行っている。一方、セメント・石灰石は一部荷主の生産工場の統廃合等により増送となった。

2. 輸送実績

（単位：千トン、％）

種別 扱別	月 計		前年比
	本年実績	前年実績	
コンテナ	1,472	1,802	81.7%
車 扱	759	942	80.6%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、％）

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	120	141	-21	85.1%
	化学工業品	147	175	-28	84.0%
	化学薬品	117	136	-19	86.0%
	食料工業品	270	298	-28	90.6%
	紙・パルプ	181	265	-84	68.3%
	他工業品	90	132	-42	68.2%
	積合せ貨物	169	195	-26	86.7%
	自動車部品	29	65	-36	44.6%
	家電・情報機器	31	38	-7	81.6%
	エコ関連物資	27	27	0	100.0%
	その他	291	331	-40	87.9%
コンテナ計	1,472	1,802	-330	81.7%	
車 扱	石油	501	642	-141	78.1%
	セメント・石灰石	123	112	11	109.5%
	車 両	69	92	-23	74.8%
	その他	67	96	-29	69.2%
	車 扱 計	759	942	-183	80.6%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）